

2023年3月6日

MFJ エンデューロ競技会関係者各位

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会

MFJ エンデューロ委員会

MFJ 国内競技規則 付則 24 エンデューロ技術規則 “16 エンデューロ用タイヤ” に関する解釈について

本文書は、MFJ 国内競技規則 付則 24 「16 エンデューロ用タイヤ (FIM スタンダード)」、いわゆる「FIM タイヤ規制」について、誤った認識をしている方が一定数存在しているとの報告を受け、MFJ エンデューロ委員会から本規則に対する正しい解釈を発信するものです。

以下、現行規則

- | | |
|------|---|
| 16-1 | 全日本インターナショナル A・B クラスに適用される (他クラスは、大会特別規則に則る)。 |
| 16-2 | フロントタイヤの寸法は自由とする。ただし主催者が公道走行用に適合したタイヤの使用を義務付けた場合を除く。 |
| 16-3 | メタルスタッド、スパイク、チェーン等如何なるアンチスキッド装置の取り付けは認められない。スクープまたはパドル (継続するラジアルリブ) タイヤは禁止される。 |
| 16-4 | タイヤは、通常の販売店または小売店から入手できるもので、一般に入手できるタイヤマニファクチュラーのカタログ、またはタイヤ仕様リストに掲載されていなくてはならない。
ただし、大会特別規則に定められた場合、例外が認められる。 |
| 16-5 | これらのタイヤは、荷重・スピードコードに関して“ヨーロッパタイヤ・リム技術機構 (ETRTO)”の定める条件に適合し、45M 以上の使用等級のものでなければならない。
ただし、大会特別規則に定められた場合、例外が認められる。 |
| 16-6 | リアタイヤのトレッドパターン仕様は以下のとおりとする。トレッドの深さは、トレッド面に対して直角に測定した状態で最大 13mm を超えてはならない。同一の円周上にあるブロックは同じ深さでなくてはならない。 |

“ヨーロッパタイヤ・リム技術機構 (ETRTO)” について

MFJ エンデューロ競技会では、本規則が適用される場合、タイヤに「E マーク」が付いているかどうかを確認します。大会特別規則で指示されていない限り、**前後タイヤどちらも対象です。**

「E マーク」とは、ETRTO の定める条件に適合していることを証明するマークです。公道走行が可能なタイヤのほとんどすべてに認証番号と共に刻印がされています。

※E マークか DOT マークの**どちらか**があれば使用可能です。



DOT マークについて

FIM 規則に準じ、アメリカ運輸省の規格に合致していることを示す DOT マークが表示されている場合でも使用が認められるものとします。同じく **前後タイヤどちらも対象です。**

※E マークか DOT マークの **どちらか**があれば使用可能です。



FIM 関連の表示について

2018 年以降に新規製造されているタイヤには、「FIM」やそれに準ずる表示は一切ございません。ただし、「FIM Quality Products」については例外となります。

↓ FIM 関連の表示の一例 ↓



↓ FIM Quality Products ↓



「45M 以上の使用等級」について

例えば、以下のようなスペック表記のタイヤがあります。

120/90-18 **65R**

上記赤文字「**65R**」部分のことを「使用等級」と記載しています。

「65」と「R」はそれぞれ別の意味を示しています。

65 ⇒ ロードインデックス

(タイヤ1本でどれだけの重さに耐えられるかを示す数字。大きいほど重さに耐えられる)

R ⇒ 速度記号

(どの速度まで安全に走行できるかを示す数字)

従って、「45M 以上の使用等級」とは、ロードインデックスが 45 以上、速度記号が M 以上のタイヤを示しています。これも同じく **前後タイヤどちらも対象です。**

誤ったタイヤでは、当日会場で参加不可とされてしまいますので、十分に気を付けてください。

結局、どのタイヤなら大丈夫なのか？

チェックポイント①：出場クラスに「エンデューロ用タイヤ（FIM スタンダード）」が適用されているか
※インターナショナル A/B クラスは適用、他クラスは大会特別規則に記載される

適用クラス ⇒ FIM スタンダードに従ったタイヤのみ

非適用クラス⇒ どのタイヤでもよい

チェックポイント②：FIM スタンダードに従ったタイヤは、MFJ・JEC プロモーションから発信される
「MFJ エンデューロシリーズ FIM スタンダード準拠リヤタイヤリスト」を参照
すること

※ フロントタイヤについては E または DOT マークがあれば OK です
フロントはリスト外でも OK です

※ メーカーがカタログにて「FIM 基準適合」といった表示をしている場合は使用
可能です

※ タイヤリストにないタイヤが FIM スタンダードに適合するのではないかとお
考えの場合は、大会主催者に連絡して確認してください

※ タイヤリストは随時更新されますので、都度確認してください

※ かつて使用可能だったタイヤが使用できなくなることは基本的にはありませ
んが、規則変更の場合はその可能性がありますのでご注意ください

チェックポイント③：公道走行可能か不可か？

上記タイヤリストの中にも公道走行可のタイヤと不可のタイヤがあります。大会
によって公道走行可能タイヤの使用が義務付けられる場合がありますので、必ず
大会特別規則を確認するようにしましょう。

以上